

## 第3章 ○

# 家庭薬歴史探訪

家庭薬はいつの時代も暮らしの味方

# 家庭薬History

時代を超えて現在も親しまれる身近な薬——家庭薬。

平成、昭和、大正、明治、江戸……。

どんなに時代が移り変わろうとも、

家庭薬は暮らしの喜怒哀楽のなかで

歴史を刻んできた。

家族の健康を願う喜び。

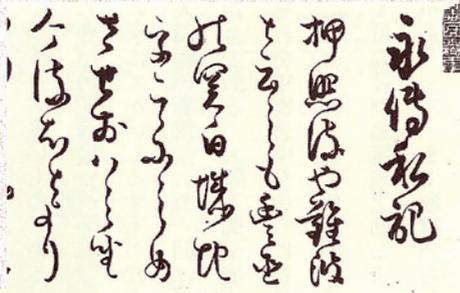
理不尽な病に対する怒り。

愛する人を失う哀しみ。

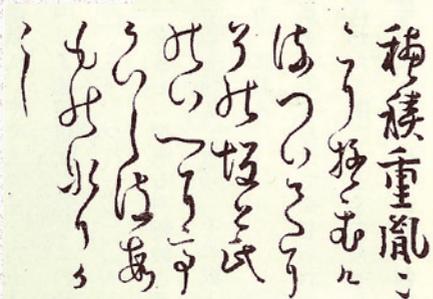
子どもが成長する喜び。

現在も暮らしと寄り添いながら生きる

家庭薬の歴史をさかのぼろう。



①



②

室町時代～江戸時代

年	全国家庭薬協議会会員創業・設立 ロングセラー商品発売開始年	世の中の動き
1570(元亀元)	翠松堂製薬創業	姉川の戦い(1570)
1597(慶長2)	宇津救命丸創業	関ヶ原の戦い(1600)
1598(慶長3)	和歌の浦井本薬房創業	徳川家康が江戸に幕府を開く(1603)
1611(慶長16)	ヒサヤ大黒堂創業	大坂の陣(1614～15)
1622(元和8)	樋屋製薬創業 樋屋奇応丸販売開始	長崎で絵踏始まる(1629) 島原の乱(1637)
1658(万治元)	大木製薬創業	明暦の大火(1657)
1680(延宝8)	守田治兵衛商店創業	生類憐みの令を発令(1687)
1690(元禄3)	七ふく製薬創業 陶陶酒製造創業	赤穂浪士の討ち入り(1702) 富士山の噴火(1707)
1690(元禄3)ごろ	丸薬七ふく販売開始	正徳の治開始(1709)
1713(正徳3)	キタニ創業 喜谷實母散販売開始	徳川吉宗、将軍となる(享保の改革)(1716) 享保の大飢饉(1732)
江戸時代中期	宇津救命丸販売開始	
1813(文化10)	日東製薬創業	間宮林蔵が樺太を探検(1808)
1847(弘化4)	久光製薬創業	天保の改革(1841)
1853(嘉永6)	アラクス創業	ペリー浦賀に来航、プチャーチン長崎に来航(1853)
1856(安政3)	ワダカルシウム製薬創業	日米和親条約を締結(1854)
1858(安政5)	盛大堂製薬創業	安政の大獄(1858)
江戸時代後期	日野製薬創業	

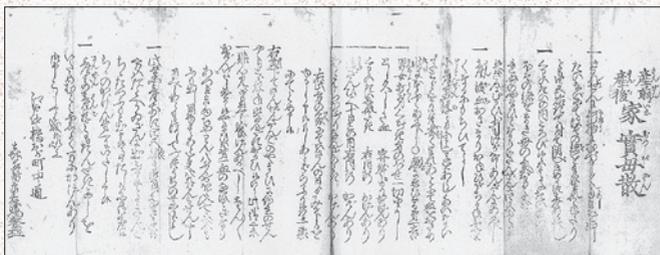
※会員の創業・設立は各社ホームページを参考。会社名とロングセラー商品は現在の名称で表記。

- ①永伝私記、1863年(樋屋製薬)
- ②永伝私記、1863年(樋屋製薬)
- ③塩沢宗閑翁、行き倒れていた旅の老人を救う、1590年代(養命酒製造)
- ④旅の老人より霊酒の秘製を伝授される。その後、養命酒と名付ける、1590年代(養命酒製造)
- ⑤江戸時代の能書(キタニ)



③

④



⑤